



NO.13

平成26年度

文化財 だより

発行 ● 太田市教育委員会 発行日 ● 平成27年8月31日 編集 ● 太田市教育委員会文化財課 (群馬県太田市粕川町520 TEL 0276-20-7090 FAX 0276-52-6080)・
太田市教育委員会歴史施設課 (群馬県太田市太田市世良田町3113-9 TEL 0276-52-2215 FAX 0276-52-2208)



中島知久平邸地域交流センターが オープンしました。



平成二十六年六月十三日に、建物を寄附していただいたご親族と、関係者にお集まりいただき記念式典を行い、翌日から一般公開を開始しました。

現在は玄関棟・客室棟・居室棟・居間棟の一部と、玄関棟・客室棟・居間棟の前庭を一般公開しています。



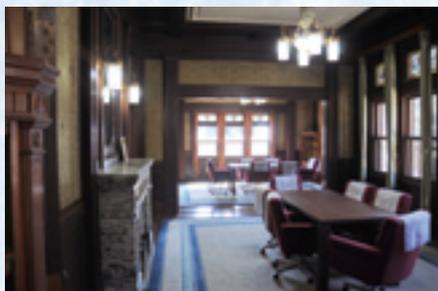


中島知久平邸地域交流センター

中島飛行機(株)の創設者・中島知久平が両親のために故郷に建設した大邸宅「中島知久平邸」の建物の玄関棟部分が、地域のみなさんや来館した方々との交流の場として活用いただけるよう、地域交流センターとして整備し利用できるようになりました。



玄関広間（北から）



応接間1（手前）・応接間2（奥）



玄関棟廊下（北から）



主屋及び蔵1・2階平面図と公開等範囲



客室棟（前庭から）

耐震補強工事を行った玄関棟と、庭園整備工事及び外堀・内堀保存修理工事を実施した西側の庭、南側の前庭を一般公開しています。中には入ることができない客室棟と居間棟の一階部分については、前庭から部屋の造りや襖などの建具の様子を見ることができます。また、玄関棟の2つの応接間（室）は希望者に貸し出しを行っています。



住所：太田市押切町1417 電話：0276-52-2235



中島知久平邸整備等事業

●外堀・内堀保存修理工事

実施期間：～平成26年5月30日

(平成26年1月21日から)

※平成25年度からの繰越事業

内堀は大規模修理し、外堀は瓦の葺き直しを行い、一部は鉄板による養生措置を行いました。



整備後の内堀の様子

●庭園樹木剪定

実施期間：平成27年1月23日～平成27年3月13日

3本のヒマラヤスギの剪定と枯枝の除去を行いました。

●中島知久平邸保存活用整備工事報告書用資料①作成

実施期間：平成26年12月8日～平成27年3月27日

●中島知久平邸保存活用整備工事報告書用資料②作成

実施期間：平成26年12月10日～平成27年3月27日

中島知久平邸の国指定重要文化財申請の附属資料として整備工事報告書を作成するためにこれまでの整備工事等の仕様・経過・結果のまとめを行いました。



樹木剪定作業の様子

●家具調査

実施期間：平成27年2月4日～平成27年3月27日

中島知久平邸に残された建設当初からのものと思われる家具の学術的調査を行いました。

中島知久平邸建造物調査・整備等専門委員会

中島知久平邸の文化財としての価値を明らかにしつつ今後の整備活用方針等を決めてゆくにあたり、学識経験者や専門家の意見に基づくものにするために諮問機関を設置し、現地調査や委員会議を行っています。



現地調査の様子



現地調査の様子



史跡 かな やま じょう あと 金山城跡 の最新情報

- 調査場所 太田市金山町
大手虎口下大手道
- 調査期間 平成26年10月27日～
平成27年3月20日
- 調査面積 約125.7㎡
- 調査の概要

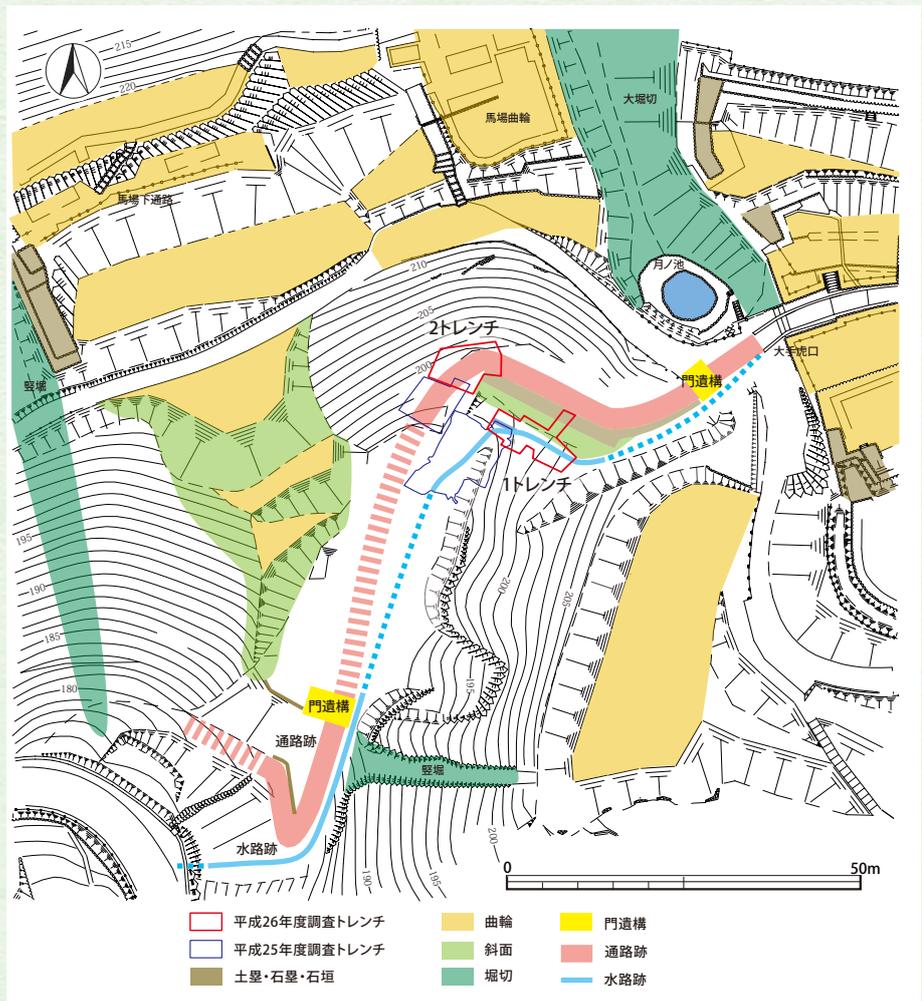
今回の調査で、南側は岩盤をえぐり、北側は石積を行って壁とした水路が発見されました。1トレンチは、平成25年度発掘調査した調査区の東と北にトレンチを設定して調査を行いました。

その石積を伴う排水路がどこまで続いているのかその先を探して調査し、排水路北側の石積は、北東へ2.4mほど延び、凝灰岩の岩盤に突き当たった所で止まっていることが分かりました。また、1トレンチの北東部を北へ拡張して石塁を一部断ち割り、構造と構築基盤土層の調査を行いました。石塁は、岩盤（凝灰岩）や地山粘土層の上に凝灰岩小角礫を敷き込み、その上に構築基盤層を造成していることがわかりました。

2トレンチは、大手道の幅や構造を確認するため、平成24年度調査区の北側に接して、曲がり角にあたる箇所に設定しました。通路は、カーブしている近辺で見ると約2.5mの幅をもっていました。西側ないし北側の端部はほぼ岩盤面を通路としており、その南側ないし東側は地山粘土層の上に1～2cm前後の細かい凝灰岩を混ぜ込んだ土を突き固めて通路面としていたようです。



1トレンチ 昨年度見つかった水路の続き



現地説明会のトレンチ図



史跡金山城跡 現地説明会

●と き 平成27年3月8日（日）

説明会当日は、午前中は小雨が降る中、足場の悪い中でしたが、午後には晴れ間が見られ、合計129名の見学者が、解説者から排水路と通路の関係等の説明を熱心に聞いていました。



金山城保存会

毎月第4金・土曜日の午前中に史跡の草刈りや清掃活動を中心とした環境美化活動等を行っています。そして、希望する来訪者に対して史跡整備地内を案内するボランティアガイドを実施し、平成26年度は26団体、771人の方々に金山の魅力を伝えました。

また、毎年会員の計画による研修会を行っています。平成26年度は、7月・10月・3月と3回の史跡見学が開催され、各回に約30名の会員が出席しました。



環境美化活動（金山城跡大手虎口）



研修会（静岡県掛川市 横須賀城跡）



史跡新田荘遺跡江田館跡 確認調査

- 調査場所 太田市新田上江田町925-17ほか
- 調査期間 平成26年7月24日～平成26年10月23日
- 調査の経過
調査面積 約302㎡（遺跡の全体面積約14,000㎡）
調査方法 平成26年度の調査は主郭部南東に3ヶ所、南面の開口部（現況の土橋部分）に2ヶ所の計5ヶ所トレンチを設定しました。

主な出土品

と概数 縄文土器（早期～中期）片と石器および剥片、古墳時代の土器（土師器）と円筒埴輪片、古代の土器（土師器）片、中世の土器（カワラケ・鍋・焙烙）および陶磁器片、近～現代の土器・陶磁器片等 遺物整理箱3箱

●調査の概要

主郭部南東に3ヶ所（うち1ヶ所は平成25年度からの継続調査で、トレンチ名に25を付けて区別）、南面開口部に2ヶ所トレンチを設定しました。各トレンチの調査面積は、25-3トレンチが100.8㎡、26-1トレンチが48.7㎡、26-2トレンチが124.4㎡、26-3トレンチが8.3㎡、26-4トレンチが19.8㎡となりました。

<25-3トレンチ>東西に延びる溝1-A・Bを確認
25-3トレンチ全体（西より）



<26-1トレンチ>南北に延びる溝跡を確認
26-1トレンチ全体1（西より）



<26-2トレンチ>溝1-A・Bの続きを確認
26-2トレンチ全体1（北西より）



調査状況

平成26年度の調査は、平成25年度に確認した溝1-Aの東南部への広がりを確認すること、現況の土橋部分を調査し、中世段階の虎口の所在の解明を進めることを目的としてトレンチを設定しました。調査の結果、溝1-Aは現在の土塁東南隅にあたる26-2トレンチまでは続くことが判明しましたが、北の26-1トレンチでは確認できず、現況の堀部分につながるか、更に東へ延びる可能性が高くなりました。また、溝1-Aと土塁の関係については、溝1-Aの方が古く、溝1-Aを埋めるような形で盛土が構築されたことが明らかとなりました。土塁構築後、郭内の造成→溝1-Bの掘削が行われたと考えられます。また平成26年度の調査で現況の土橋部分が中世まで遡らないことが判明しました。溝1-A・Bの明確な時期と性格、及び中世段階での虎口の所在については、今後の調査の課題となりました。



おおたんの 史跡探検 スタンプラリー

太田市に数多く存在する貴重な歴史遺産を、正しく理解・認識し、より身近に感じていただくため、平成26年度も「おおたんの史跡探検スタンプラリー」を実施いたしました。

小・中学校が夏休みとなる平成26年7月19日から8月31日を実施期間として、市内の文化財所在地や各資料館など合計26ヶ所にスタンプを設置しました。参加者はガイドマップに載っている地図をたよりに、夏の暑い盛りの中スタンプを求めて市内各所を巡りました。

スタンプを設置した全26ヶ所のうち20ヶ所以上を巡ると修了認定されますが、今回は過去最多の4,167名の参加申込があり、その内の2,354名が修了認定されました。

修了者には記念品として、文化財課のマスコットキャラクター「よしさだくん（新田義貞）」と「せんちゃん（千姫）」のイラストの入ったジャガード織マフラータオルが贈呈されました。

参加者の皆さんには、スタンプラリーを通して太田の歴史を学ぶとともに、家族や友達と一緒に楽しい時間を過ごすことができたのではないかと思います。



スタンプ帳とガイドマップ



記念品（キャラクター入マフラータオル）



スタンプラリー実施状況（江田館跡）



スタンプラリー実施状況（生品神社）



おおたししていじゅうようぶんかざい そうじじ もくぞうでんにつたよしさだいでぞう

太田市指定重要文化財 総持寺の木造伝新田義貞倚像

- 指定年月日 平成27年2月23日
- 所在場所 太田市世良田町3201-6

この像は、総持寺に安置されており、寺伝では新田義貞像と伝えられていますが、義貞の確かな肖像は知られていないため確かなことはわかりません。

桜材による一木造で、像高87.1cm、鎌倉時代の神像と考えられています。

造形的にも優れた像であり、形状から守門神のうちの阿形像とみられ、太田市の文化史上及び彫刻史上・造像技法上も貴重な像です。

総持寺は、新田総領家の新田館のなかに建立した寺と伝えられ、「館の坊」と称され、境内は国指定史跡「新田荘遺跡（総持寺境内）」として指定されています。



文化財模擬火災訓練

- とき 平成27年1月25日（日）
午前10時～
- ところ 龍得寺（新田上江田町）

昭和24年1月26日、国宝の法隆寺金堂壁画が焼失したため、毎年1月26日を「文化財防火デー」と定め、全国的に文化財防火運動が実施されています。太田市でも、毎年「文化財模擬火災訓練」を実施しています。

平成26年度は、新田上江田町の龍得寺で実施しました。龍得寺では「龍得寺の五輪塔」と「龍得寺の絹本著色横瀬泰繁画像」が市重要文化財に指定されています。

訓練は本堂より出火という想定で開始され、消防本部・消防団・関係者の協力のもと、初期消火作業、文化財の持ち出し、人命救助、一斉放水などの訓練が行われました。



人命救助訓練



一斉放水



史跡環境整備

文化財課では、一年を通して、市内の史跡等の除草をしています。主なものを挙げると、国指定史跡「天神山古墳」、「女体山古墳」、「金山城跡」、「上野国新田郡庁跡」、「新田荘遺跡（江田館跡）」、「新田荘遺跡（矢太神水源）」、「新田荘遺跡（重殿水源）」、県指定史跡「北山古墳・西山古墳」、市指定史跡「寺山古墳」、市指定天然記念物「丸山薬師のカタクリ群生地」、市指定重要文化財「中島知久平邸」等、かなりの数に上ります。



天神山古墳

説明板・標識柱の設置

- ・国指定史跡「新田荘遺跡（矢太神水源）」（新田大根町）の標識柱を設置し直しました。
- ・県指定史跡「塚廻り古墳群第4号古墳」（龍舞町）、県指定史跡「二ツ山古墳1号墳・2号墳」（新田天良町）、市指定史跡「巖穴山古墳」（東今泉町）、市指定史跡「八幡山古墳」（大島町）の説明板を設置し直しました。
- ・ふれあい農園（米沢町）に「石田川式土器出土地」の説明板ならびに標識柱を設置しました。



新田荘遺跡（矢太神水源）



塚廻り古墳群第4号古墳・古墳説明板



塚廻り古墳群第4号古墳・埴輪説明板



二ツ山古墳1号墳



二ツ山古墳2号墳



巖穴山古墳



八幡山古墳



石田川式土器出土地



こうずけのくににつ た ぐんちようあと

上野国新田郡庁跡発掘調査

- 調査場所 太田市天良町7-1ほか
- 調査期間 平成26年9月1日～平成27年2月3日
- 調査面積 約2,000㎡

平成26年度の調査は、史跡上野国新田郡庁跡と周辺部で実施しました。

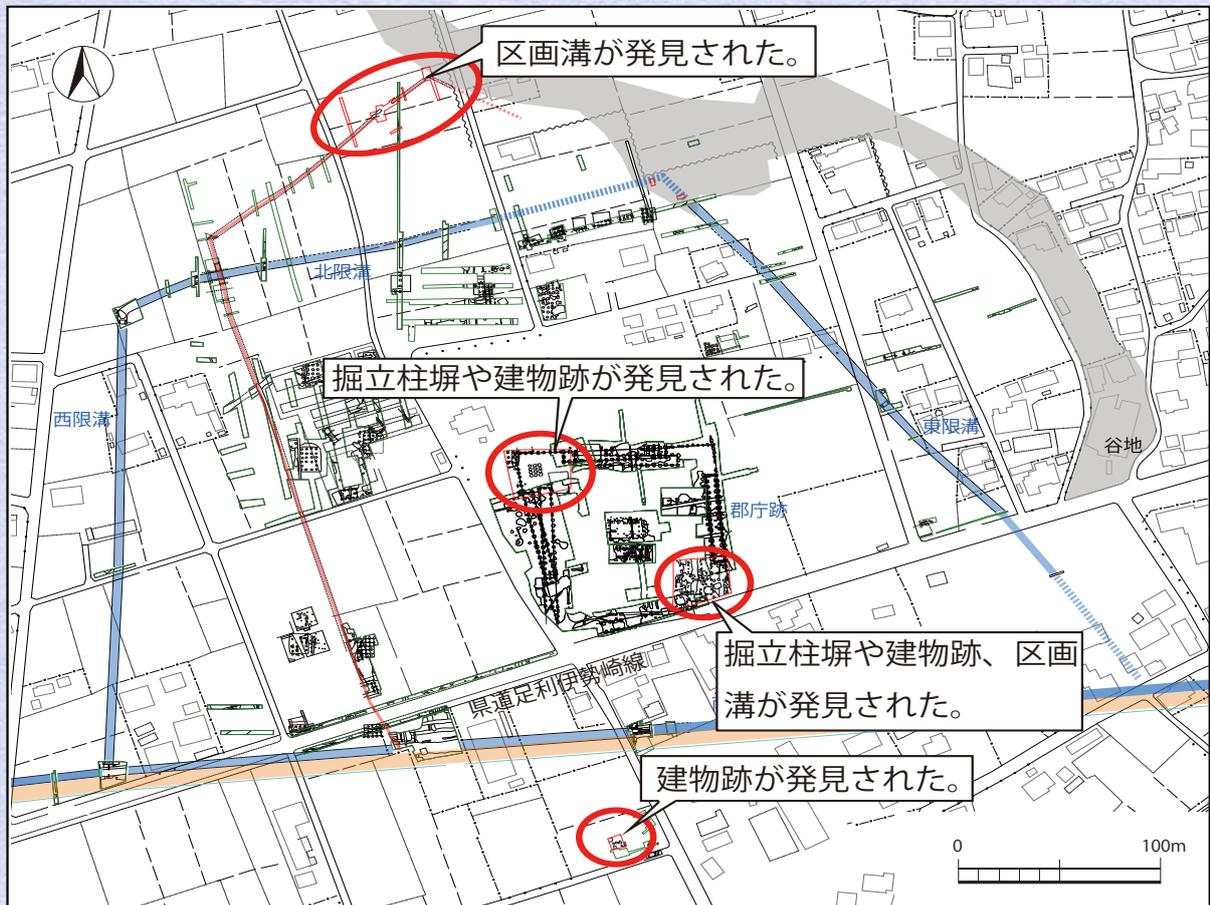
郡庁跡では、1・2期の長屋建物の間が塀（掘立柱塀）で結ばれていたことが明らかになりました。ほかに郡庁の南東部分では3～5期の建物跡や区画溝が確認されました。

一方、周辺部では南部で建物跡が確認されたほか、北部では古い時期の郡衙を区画する溝が確認されました。この区画溝は途切れていることがわかり、ここに出入口があったと考えられます。

平成26年度の調査で、各時期における郡衙の様相が部分的ではありますが、明らかになりました。



郡庁北西部の掘立柱塀と掘立柱建物跡（上空から撮影）



新田郡衙全体図



郡庁南東部の掘立柱塀、区画溝、掘立柱建物跡（上空から撮影）



郡庁の北部で発見された古い時代の区画溝

上野国新田郡庁跡現地説明会

●ところ 史跡上野国新田郡庁跡発掘現場

●とき 平成26年11月15日（土）

参加者 316名（一般対象）

平成26年11月18日（火）・19日（水）

参加者 244名（学校対象）

市民の皆さんや子供たちに新田郡庁跡の発掘調査の成果を見学していただくために、現地説明会を開催しました。

参加された方々は、発掘された掘立柱塀や建物跡などを見学していただき、新田郡庁の規模の大きさを体験していただきました。



説明会風景



説明会風景



説明会資料



かむかい なかにし だ い せき

川向・中西田遺跡

- 調査場所 太田市内ヶ島町地内
- 調査期間 平成26年4月23日～9月19日
- 調査面積 約2,020㎡

公共の土地分譲に伴い発掘調査を実施しました。その結果、古墳時代～平安時代の住居跡が45軒、溝が25条、土抗が130基以上、柱穴が600基弱検出されました。特に調査区南側をL字状に伸びる堀は、幅5m弱、深さ1.5mに及ぶ中世の館の堀と考えられます。遺物については、古墳時代～近世の土器片が多数出土しました。また、「藺田」と刻印された瓦よろいや鎧こぎねの小札や耳環などの貴重な遺物も発見されています。

今回の調査によって、ここに古代から集落が形成されていたことがわかりました。



川向・中西田遺跡調査風景



「藺田」と刻印された瓦



中世の館の堀

かぶき いせき せら だ かんごうしゅうらく せら だ じん や いせき ほか

歌舞妓遺跡・世良田環濠集落、世良田陣屋遺跡 他

- 調査場所 太田市世良田町地内
- 調査期間 平成26年5月12日～平成27年2月23日
- 調査面積 約5,700㎡

県営のほ場整備事業に伴い発掘調査を実施しました。

歌舞妓遺跡の調査区（世良田駅の南東）から、主に古墳時代の住居跡82軒が検出され、当時の土器や石製品が多数出土しました。

世良田環濠集落の調査区（世良田行政センターの西）では、中世の館を囲む堀の跡や区画溝が多数検出されました。また、江戸時代以降の掘立柱建物跡や井戸跡も検出されており、人々が暮らしていたことがわかりました。

世良田陣屋遺跡の調査区（世良田行政センターの北）からは、世良田今井城に関連する溝が検出され、ここから五輪塔などの遺物が出土しました。



歌舞妓遺跡の住居跡



世良田環濠集落調査風景



てらうら い せき

寺裏遺跡

- 調査場所 太田市鳥山上町地内
- 調査期間 平成26年6月16日～7月2日
- 調査面積 約120㎡

分譲住宅地の造成工事に伴い発掘調査を実施しました。その結果、古墳時代の住居跡3軒、土坑9基が検出され、古墳時代の土器が多数出土しました。

調査地の西側は砂地となっており、当時は川の近くで生活していたものと考えられます。



寺裏遺跡全景

た や い せき

田谷遺跡

- 調査場所 太田市東矢島町地内
- 調査期間 平成26年6月25日～7月25日
- 調査面積 約105㎡

分譲住宅地の造成工事に伴い発掘調査を実施しました。その結果、住居跡15軒が検出されました。住居跡の大半は、古墳時代中頃のものであると考えられます。その他に、中世以降の土坑・井戸が検出されました。



田谷遺跡土器出土状況

はまちょう い せき はまちょう こ ぶんぐん

浜町遺跡・浜町古墳群

- 調査場所 太田市浜町地内
- 調査期間 平成26年7月8日～7月24日
- 調査面積 約90㎡

区画整理事業の市道建設に伴い発掘調査を実施しました。その結果、住居跡8軒、溝1条、土坑10基、ピット10基が検出されました。住居跡は古墳時代から平安時代の土器片が出土しており、継続的に生活が営まれていたことがわかりました。



浜町古墳群全景

むかい の い せき

向野遺跡

- 調査場所 太田市高林東町地内
- 調査期間 平成27年1月5日～1月7日
- 調査面積 約73㎡

集会施設の建設に伴い発掘調査を実施しました。この結果、古墳時代前期の住居跡2軒が検出されました。調査地付近では古墳時代後期の住居も確認されていることから、継続的に生活が営まれていたものと考えられます。



向野遺跡調査風景



やしきひがしいせき

屋敷東遺跡

- 調査場所 太田市富沢町地内
- 調査期間 平成27年1月13日～1月29日
- 調査面積 約67㎡

分譲住宅地の造成工事に伴い発掘調査を実施しました。この結果、古墳時代の住居跡7軒、平安時代の住居跡1軒、中世以降の土坑・井戸・溝が検出され、この時代の土器が多数出土しました。

調査地では、古墳時代後期になって村の規模が拡大する傾向にあることがわかりました。



屋敷東遺跡調査風景

みやた いなりこふん いちちょうだ ほりのうちいせき

宮田稲荷古墳、一町田・堀之内遺跡

- 調査場所 太田市新田赤堀町地内
- 調査期間 平成27年3月9日～3月18日
- 調査面積 約39㎡

市道の拡幅工事に伴い発掘調査を実施しました。その結果、古墳の周溝1ヶ所、近世以降の溝3条が検出され、埴輪片や古墳時代から近世にかけての土器片が出土しました。

宮田稲荷古墳の墳丘盛土は大半が破壊されていましたが、その周りをめぐる周溝の一部を確認することができました。



宮田稲荷古墳全景

出土遺物整理作業

文化財課では、これまで実施した発掘調査の成果を公開するために、出土した遺物の接合や復元、実測、写真撮影等の整理作業を行い、資料化を進めています。平成26年度は、上強戸古墳群や駒形神社埴輪窯跡、岩松千歳2遺跡、平成25年度太田市内遺跡などの各調査の整理作業を実施しました。

平成26年度は、平成25年度の各種開発に伴う確認調査結果をまとめた『太田市内遺跡10』と、北部運動公園造成に伴う発掘調査結果をまとめた『上強戸古墳群』を刊行しました。



平成26年度刊行した報告書



整理作業風景



平成26年度埋蔵文化財最新情報展

- とき 平成26年6月7日（土）～8月3日（日）
- ところ 新田荘歴史資料館 学習室
- 観覧者 2,125名

太田市東金井町にある下宿遺跡は、昭和59～62年にかけて発掘調査が行われ、縄文時代草創期の爪形文土器や石器が出土しました。

今年度の埋蔵文化財最新情報展は、下宿遺跡の遺物整理作業が終了し、発掘調査報告書が刊行されたことを受け、「おおたの縄文時代草創期」をテーマとして行いました。

下宿遺跡出土資料のほか、中江田A遺跡や小角田遺跡など、太田市域の縄文時代草創期～早期における人々の暮らしの一端を展示しました。



最新情報展ポスター

出前考古学教室

- とき 平成26年7月9日（水）
平成26年8月20日（水）
- ところ 太田市立太田中学校
- 参加者 合計210人（1年生）

「古墳時代の太田市」をテーマにした出前考古学教室を実施しました。

参加した生徒たちは、出土した土器に実際に触れることで、古墳時代の太田がどんな時代だったのか思いを巡らせていたようです。



出前考古学教室の様子



平成26年度 確認調査一覧表

No	遺跡名	所在地	調査期間	開発原因
1	東部地区遺跡群	岩松町	H26.4	民間
2	沢野村78号北古墳、高林鶴巻古墳群	高林南町	H26.4	民間
3	五反田遺跡	宝町	H26.4	民間
4	F P 泥流下遺跡群	安養寺町	H26.4	民間
5	寺裏遺跡、推定東山道駅路下新田ルート	鳥山上町	H26.5	民間
6	天良七堂遺跡	天良町	H26.5	民間
7	田谷遺跡	東矢島町	H26.5	民間
8	西矢島古墳群	南矢島町	H26.5	民間
9	天良七堂遺跡、推定東山道駅路下新田ルート	寺井町	H26.6	民間
10	寺裏遺跡	鳥山上町	H26.6	民間
11	浜町古墳群	浜町	H26.6	市
12	天神山古墳	内ヶ島町	H26.6	民間
13	沖之郷後原遺跡	沖之郷町	H26.6	民間
14	天良七堂遺跡	天良町	H26.6	民間
15	西側遺跡	新田金井町	H26.6	民間
16	下小林上遺跡	下小林町	H26.6	民間
17	東部地区遺跡群	岩松町	H26.7	民間
18	原店遺跡	東金井町	H26.7	民間
19	FP 泥流下遺跡群	世良田町	H26.7	県
20	天神山古墳	内ヶ島町	H26.8	民間
21	反町城館跡	新田反町町	H26.8	民間
22	天良七堂遺跡、推定東山道駅路下新田ルート	寺井町	H26.8	民間
23	天狗林遺跡	由良町	H26.8	民間
24	新田館跡	世良田町	H26.8	民間

No	遺跡名	所在地	調査期間	開発原因
25	天神山古墳	内ヶ島町	H26.9	民間
26	浜町古墳群	浜町	H26.9	市
27	御霊遺跡	龍舞町	H26.9	民間
28	御霊遺跡	龍舞町	H26.9	民間
29	境ヶ谷戸遺跡	新田村田町	H26.10	民間
30	新田館跡	世良田町	H26.10	民間
31	猿楽遺跡	只上町	H26.10	民間
32	東部地区遺跡群	岩松町	H26.10	民間
33	萩林遺跡	藪塚町	H26.10	民間
34	下原古墳群ほか	世良田町	H26.10	県
35	鶴生田口遺跡	強戸町、鶴生田町	H26.10・11	民間
36	東部地区遺跡群	岩松町	H26.11	民間
37	屋敷東遺跡	富沢町	H26.12	民間
38	笠松遺跡	新田小金井町	H26.12	民間
39	向野遺跡	高林東町	H26.12	民間
40	反町城館跡	新田反町町	H27.1	民間
41	下原遺跡	新道町	H27.1	民間
42	矢部遺跡	只上町	H27.2	民間
43	道知塚遺跡	南矢島町	H27.2	民間
44	西野東中遺跡	藪塚町	H27.2	民間
45	宮田稲荷古墳、一町田・堀之内遺跡	新田赤堀町	H27.2	市
46	高林遺跡	高林北町	H27.3	民間
47	中道遺跡	鳥山上町	H27.3	民間
48	休泊堀	原宿町	H27.3	市
49	牛沢城跡	牛沢町	H27.3	民間

開発に係る調整 平成26年度 事前照合・協議件数等

	公共事業	民間開発	合計
事前照合・協議	27件	1831件	1858件
本発掘調査	3件	5件	8件
確認・試掘調査	6件	43件	49件
学術調査	3件	-	3件
立会調査	13件	7件	20件
慎重工事	2件	340件	342件
93条届出	-	345件	345件
94条通知	14件	-	14件
確認・試掘調査面積	246.0㎡	3363.6㎡	3609.6㎡
本調査面積	1664㎡	430㎡	2094㎡
学術調査面積	2427.7㎡	-	2427.7㎡



新田荘歴史資料館

第6回企画展 「太田を駆け抜けた馬たち」

- と き 平成26年3月8日（土）～5月18日（日）
- 入館者 2,147名

平成26年の干支の午（馬）にあわせて、馬にまつわる資料を集めた展示を行いました。特に、太田市を代表する11体の馬形埴輪を同時に公開するのは初めてとなりました。このほかに、「新田義貞と馬」「描かれた馬」などの展示も行いました。



☆関連イベント 「馬のストラップを作ろう」

ゴールデンウィーク期間にプラスチック板を使い、馬のストラップ作りを行いました。



作成風景



ストラップの出来上がり

夏休み企画「はにわ作り教室」

- と き 平成26年8月9日（土）～8月10日（日）
- 講 師 榎原宗雄先生
- 講師補助 岡本彰子さん
- 参加者 4名

太田市飯塚町出土の国宝挂甲武人埴輪をモデルにはにわを作りました。



はにわ作成風景



はにわ作品

第7回企画展縄文最後のきらめき「石之塔遺跡展」

- と き 平成27年3月14日（土）～5月17日（日）
- 入館者 433名（3/31迄）

石之塔遺跡は、太田市最北部の藪塚町にあり、八王子丘陵と大間々扇状地に挟まれた水田地帯で発見された縄文時代後期から晩期にかけての遺跡です。

土地改良事業に伴い昭和61年度に、発掘調査が行われ、水田下の半径100mの微高地上から配石遺構、敷石遺構、炉状遺構などが発見され、装身具や呪いに関する遺物が出土しました。

出土遺物は、土製耳飾、石製玉類、岩版、土版、石棒、土偶などの特徴的なものと、縄文土器や多くの石鏃、石錘、土錘、石錐、石斧など生活に伴うものが出土しました。

今回の企画展は、発掘調査後30年を経た石之塔遺跡の出土遺物を一堂に展示し、再評価の光を当てたものです。



展示風景



講演会の様子



☆講演会 「大間々扇状地の立地と石之塔遺跡」

- と き 平成27年3月21日（土）
- 講 師 小菅将夫氏（岩宿博物館館長）
- 参加者 30名



縁切寺 満徳寺 資料館

第28回三くだり半企画展 「三くだり半の慰謝料Ⅲ－縁切寺、とくに満徳寺の事例を中心に－」

- とき 平成26年3月21日（金）～5月18日（日）
- 入館者 1,784名

現在の離婚慰謝料は、離婚原因をつくった配偶者が支払いますが、江戸時代は有責性を問わず、原則として離婚請求者が慰謝料を支払いました。これを「離婚請求者支払義務の原則」といいます。今回は縁切寺での事例を中心に、「離婚請求者支払義務の原則」に従って離婚が成立したことを明らかにするのが本展示の目的です。新たに入手した文書など初めて展示するものを含めて20点を展示しました。



展示風景

【三くだり半企画展公開講座】

「三くだり半の慰謝料－駆け込むとお金がいくらかかったか！？～慰謝料と滞在費用～」

- とき 平成26年4月13日（日）午後2時～
- 講師 高木侃名誉館長
- ところ 新田荘歴史資料館学習室
- 参加者 39名

【高木侃名誉館長による展示解説会】

【第1回展示解説会】

- とき 平成26年4月5日（土）
- 参加者 13名

【第2回展示解説会】

- とき 平成26年4月26日（土）
- 参加者 10名



公開講座

徳川大学大衆文化講座「講談」

- とき 平成26年11月15日（土）午後1時30分～
- 演者 講談師 神田松鯉（しょうり）師匠
講談師 神田蘭さん
- 参加者 54名

講談師神田山陽氏の師匠である真打・神田松鯉氏及び二つ目・神田蘭氏をお招きし、縁切寺満徳寺復元本堂内にて、創作ものや古典ものの「講談」を演じていただきました。



講談師の神田松鯉師匠



特別展 『親父の小言』 と親心

- と き 平成26年10月11日（土）～12月14日（日）
- 入館者 1,816名

教訓書『親父の小言』は、昭和3年に書かれた福島県浪江町の大聖寺の45ヶ条がルーツとされ、昭和30年代から全国に広がったものとされてきましたが、平成25年3月にその内容を全て含む嘉永5年版『親父の小ごと』が小泉吉永先生によって発見され、各メディアで報じられ、話題となりました。

そこで、今回の特別展では、小泉吉永先生監修のもと、江戸・明治・昭和の『親父の小言』を初めて勢揃いさせ、江戸時代の庶民が読んだ教訓書から『小言』を読み解き、江戸の親心や日本人の心、また、日本の伝統的な教育文化を探る展示をしました。



展示風景

【特別展『親父の小言』と親心』展示解説会】

- と き 平成26年11月23日（日） 午前11時～12時
- 講 師 小泉吉永氏（法政大学講師）
- 参加者 15名



展示解説する小泉先生

【徳川大学公開講座『親父の小言』と親心】

- と き 平成26年11月23日（日） 午後2時～
- 講 師 小泉吉永氏（法政大学講師）
- ところ 新田荘歴史資料館学習室
- 参加者 38名

江戸時代の往来物研究の第一人者で、縁切寺満徳寺資料館で開催した特別展『親父の小言』と親心』を監修していただいた小泉先生から、江戸の教訓書である『親父の小言』を中心に、当時の人々が大切にしていた心構えなどについて、ご講演をいただきました。



公開講座

藪塚本町歴史民俗資料館

ミニ企画展 「作曲家の生涯 定方雄吉」

- と き 平成26年11月3日（月）～平成27年3月15日（日）
- 入館者 346名

旧藪塚本町で童謡「あの子はたあれ」は細川雄太郎さんの作詞で誕生しました。この作詞家を中央の音楽界に紹介したのが当時、大原町に住んでいた作曲家「定方雄吉」先生でした。93年間の音楽家の生涯と歴史の流れを重ね合わせて作品を展示しました。



展示風景



高山彦九郎記念館

企画展 「高山彦九郎 五千人の交遊録」

- とき 平成26年3月1日(土)～6月29日(日)
 - 入館者 641名
- 「高山彦九郎日記」に現れる人物は優に5,000人を超えます。その中には、当時一流の学者・文化人がいました。彦九郎が残した「日記」や書簡などをもとに、交流した人物を取り上げることで、彦九郎の人物像に迫ることを目的としました。



「5千人の交友録」展示風景

企画展「江戸時代のお公家さん -高山彦九郎が見た公家の世界-」

- とき 平成27年3月21日(土)～6月28日(日)
 - 入館者 53名 (3/31迄)
- 「高山彦九郎日記」には、高山彦九郎が、公家の岩倉具選邸に寄留し、学者・文化人とともに、多くの公家たちと交流している様子が記されています。彦九郎との交遊を示す資料から、お公家さんの世界の一部をご覧いただきました。



「江戸時代のお公家さん」展示風景

講演会「つながる江戸の文人たち－高山彦九郎の交遊録からみえるもの－」

- とき 平成26年6月1日(日)
午後2時～午後3時45分
 - 演題 「つながる江戸の文人たち
－高山彦九郎の交遊録からみえるもの－」
 - 講師 瀬戸口龍一氏(専修大学大学史資料課長)
 - ところ 九合行政センター
 - 参加者 64名
- 高山彦九郎と江戸の文人たちとの交流から、江戸時代が身分・地域を越えての文化・学問の交流の時代であったことに焦点を当てた講演会を実施しました。



瀬戸口 龍一先生

「高山彦九郎 『北行日記』 常州水戸の足跡を訪ねる」学習会・見学会

- 【学習会】
- とき 平成26年9月24日(水)
午後1時30分～午後3時30分まで
 - 講師 正田喜久氏(高山彦九郎研究会 会長)
 - ところ 高山彦九郎記念館2階(特別展示室)
- 【見学会】
- とき 平成26年9月30日(火)
午前8時30分～午後5時15分まで
 - ところ 茨城県立歴史館、偕楽園、好文亭
 - 参加者 30名
- 「高山彦九郎 『北行日記』 常州水戸の足跡を訪ねる」と題し、高山彦九郎と関わりのある地を訪ねました。



偕楽園表門にて



ミニ企画展（高山彦九郎記念館・新田荘歴史資料館共同企画） 「新田猫せいぞろい -新田岩松氏が描いた猫絵の数々-」

- と き 平成26年10月4日（土）～12月7日（日）
- 入館者 376名

「新田猫」は、太田市下田島町に屋敷を構えていた、交代寄合格の旗本であった新田岩松家の江戸後期から明治にかけての4代の当主、義寄（温純）・徳純・道純・俊純が描いたものです。

江戸時代、上州・武州・信州では養蚕が盛んで、農家は、繭を食べてしまうネズミを遠ざけることに効果（靈験）があると信じられていた「新田猫」の絵を求め、蚕室に貼り、ネズミ除けとしていました。

今回の展示では、新田荘歴史資料館（東毛歴史資料館旧蔵・新田図書館旧蔵）と高山彦九郎記念館で保管する新田猫絵を一堂に会し、絹産業に貢献したユニークな“猫たち”を紹介しました。



「新田猫せいぞろい」展示風景

「太田市新田猫絵コレクション」ぐんま絹遺産に登録！！

- 登録日 平成27年2月2日（月）
- 登録点数 15点（13点が新田荘歴史資料館、2点が高山彦九郎記念館所蔵）



新田義寄（温純）



新田徳純



新田道純



新田俊純

大隅俊平美術館

第4回企画展 「鐵（くろがね）の美 装いの美」

- と き 平成26年4月25日（金）～7月13日（日）
- 入館者 980名

徳川家康400年祭に先駆け、八代将軍吉宗公ゆかりの拵え（日光東照宮所蔵）を、大隅俊平の刀剣と併せて展示しました。



第5回企画展 「極みの業-大太刀から刀子まで-」

- と き 平成26年10月24日（金）～平成27年1月25日（日）
- 入館者 831名

大隅刀匠渾身の作である四尺六寸（約140cm）の大太刀から、当館初公開となる刀子（とうす）とよばれる極小の刀剣を展示しました。





実 演

銘切実演

- と き 平成26年5月5日（月）午前10時～、午後1時30分～
- 講 師 本田正紀刀匠（大隅俊平弟子）
プレートに銘を切り、子供たちにプレゼントしました。
- 参加者 83名



銘切実演

刀剣研磨実演

- と き 平成26年9月21日（日）午後1時～
- 講 師 大西伸夫氏（研師）
刀剣研磨の様子を公開しました。
- 参加者 65名

中心（なかご）やすりかけ実演

- と き 平成26年10月19日（日）午前10時～、午後1時～
- 講 師 本田正紀刀匠
作刀工程「中心やすりかけ」の様子を公開しました。
- 参加者 41名



王朝装束着装実演

王朝装束着装実演

- と き 平成27年1月25日（日）午後1時～
- 講 師 （財）民族衣裳文化普及協会群馬県支部
金井美由紀 氏
※モデルはミス太田の栗原さん、玉置さん
文官、十二単の着装の様子を鑑賞していただきました。
- 参加者 95名



作刀実演

作刀実演

- と き 平成27年3月22日（日）午後1時～
- 講 師 高野和也刀匠（大隅俊平弟子）
本田正紀刀匠
作刀工程「合わせ鍛え」の様子を公開しました。
- 参加者 171名

講 座

花結び講座

- ◆花結び（菊花結び）講座
- と き 平成26年6月15日（日）
「菊花結び」を行いました。
- 参加者 39名
- ◆花結び（干支・未）講座
- と き 平成26年11月23日（日）
干支（未）を紐で作成しました。
- 参加者 51名



こけしストラップ作り

- ◆ワークショップ「結び遊び～こけしストラップ」
- と き 平成27年2月28日（土）～3月8日（日）
「結び」でこけしストラップを作成しました。
- 参加者 93名



トーク「刀鍛冶の日常」

- と き 平成26年12月7日（日）午後1時～
- 講 師 田村俊基刀匠（大隅俊平弟子）
あまり馴染みのない刀鍛冶の日常生活について、お話していただきました。
- 参加者 28名



田村俊基刀匠



史跡 金山城跡 ガイダンス 施設

体験学習

内 容	月 日	回数	講 師	参加者数
草木染教室	5/10・6/14・7/12・9/13・ 10/11・12/13 (飾り糸車)	6回	板野千恵氏	62人
寄せ植え教室	5/29・11/20	2回	宮森美奈子氏	20人
うちわ絵付け教室	6/8	1回	瀧ヶ崎千鶴氏	9人
カード作り教室	6/12・11/13	2回	松井悦子氏	24人
金山城跡を歩く	5/21・10/29	2回	職員	27人
篆刻体験教室	9/20・9/27	2回	龍舞篆会	20人
日本茶を楽しむ	3/10	2回	斎藤一郎氏	19人
金山城保存会入会講座	1/24・2/28・3/27	3回	職員	22人
まが玉教室	開館日随時受付		職員	208人



草木染教室



寄せ植え教室



うちわ絵付け教室作品



カード作り教室作品

歴史講演会等

第14回金山歴史講演会

- と き 平成26年4月26日 (土)
- 講 師 黒田基樹氏 (駿河台大学法学部教授)
- 演 題 越相同盟における由良氏の役割
- 参加者 64人



第15回金山歴史講演会

- と き 平成26年8月2日 (土)
- 講 師 齋藤慎一氏 (江戸東京博物館 学芸員)
- 演 題 沼尻の合戦と金山城
- 参加者 78人

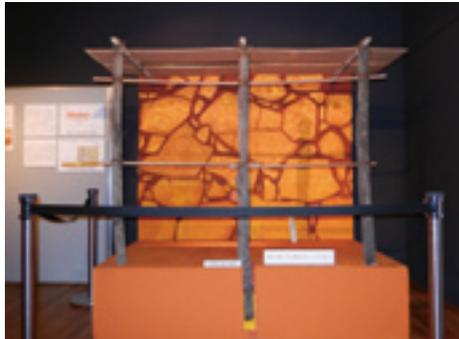


ギャラリートーク

- と き 平成26年6月8日 (日)
- 講 師 瀧ヶ崎千鶴氏 (日本画家)
- 演 題 日本画の素材と技法
- 参加者 10人



ギャラリー展示



金山城跡発掘調査展
(石垣作事足場想定復元模型)



企画展名	期間	来場者
銅山街道を歩く	3月22日～5月6日	2,657人
日本画展 ～自然の中で～	5月17日～6月22日	2,457人
金山城跡発掘調査展	7月19日～8月31日	4,063人
高山彦九郎の恩人 高芙蓉と篆刻展	9月13日～11月3日	2,368人
金山と農村風景 ～築比地正司展～	11月22日～1月18日	2,099人
寄贈資料展 ～林映利氏コレクション～	3月7日～6月14日	3,992人

文化振興事業 落語会

ガイダンス施設を日本古来の伝統文化発信地としていくことを目的として、落語会を開催しました。定員の約3倍の申し込みがあり、参加された皆さんは楽しいひと時を過ごされました。

- とき 平成26年9月17日（水）
- 出演者 林家三平師匠
- 参加者 103人



新田荘歴史資料館	〒370-0426	太田市世良田町3113-9	TEL 0276-52-2215
縁切寺満徳寺資料館	〒370-0425	太田市徳川町385-1	TEL 0276-52-2276
高山彦九郎記念館	〒373-0842	太田市細谷町1324-7	TEL 0276-32-5632
藪塚本町歴史民俗資料館	〒379-2301	太田市藪塚町149	TEL 0277-78-5728
大隅俊平美術館	〒373-0036	太田市由良町3051	TEL 0276-20-6855
史跡金山城跡ガイダンス施設	〒373-0027	太田市金山町40-30	TEL 0276-25-1067
中島知久平邸地域交流センター	〒370-0405	太田市押切町1417	TEL 0276-52-2235